

【福山教室／沖野上教室】事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

はい…○ どちらともいえない…△ いいえ…× 該当事象がない… -	○	△	×	コメント
環境整備・体制整備				
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	70%	20%	10%	・物の配置を適宜、変更しながら活動に合わせて適切なスペースを確保できるようにしている。
2 職員の配置数は適切であるか	80%	20%	0%	・基準の人員配置に合わせて適切に配置している。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60%	40%	0%	・合理的な配慮も含め、児童・生徒の動線に合わせて、適切に行っている。
業務内容				
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%	0%	・業務改善に向けての提案、相談を会議等で行うとともに、アルバイト、パートも含め意見をもらっている。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・保護者アンケートの結果を含め、業務改善を行っている。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	・今後、ホームページで速やかに公開していく。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	-	-	・今後、必要であれば検討していく。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	90%	10%	0%	・定期的な研修に参加するとともに、事業所内で、支援方法や保護者対応など、各種業務についての研修を実施している。
適切な支援の提供				
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	0%	・契約時を含め、定期的にアセスメントを行い、計画を作成、修正している。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%	0%	・アセスメント時には、適宜、アセスメントツールを活用している。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	0%	・活動を提案、実施するスタッフで、相談したり模擬実施したりするとともに、監督する立場の職員が、適宜、指導、助言を行っている。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%	0%	・その日の利用児童、生徒に合わせたプログラムや季節に合わせたプログラム、学校生活に沿ったプログラムを立案している。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90%	10%	0%	・それぞれに合わせた、課題を鑑みて、支援方法や内容を設定している。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・主に集団での活動を提案しているが、状況に応じた個別の支援についても保護者様へ提案し、計画作成を行っている。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	10%	0%	・支援開始前に活動の相談、立案時間や支援の方法、個々の様子について確認する時間を設けている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	90%	10%	0%	・支援内容や方法、児童、生徒の様子も含め、振り返りを行い、情報の確認、意識の統一を図っている。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%	0%	・個々の支援や目標に対しての評価を日々記録し、支援の検証、改善を行っている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%	・定期的にモニタリング、アセスメントを行い、見直しの必要性の有無も含め検討し計画の変更を行っている。

【福山教室／沖野上教室】事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-	○	△	×	コメント
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	80%	20%	0%	・ガイドラインに則したテーマを設定しながら、個々の様子に合わせた活動を実施している。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	-	-	-	・相談支援事業所からのモニタリングについて情報提供を行っている。 ・当事業所から児童・生徒の様子について、情報提供している。
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	90%	10%	0%	・年度初めに行事予定等の情報を載くとともに、必要であれば来所予定等をお知らせしている。また、トラブル等の際には連携を図り、共通した対応を行うようにしている。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-	・現在、医療的ケアが必要な児童、生徒は在籍がないが、今後必要となった際には、主治医、協力医療機関等を含め、連絡、対応の体制を整える。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	-	-	-	・保育園、幼稚園との情報の共有は難しいが、児童発達支援事業所に関しては、相談支援事業所を介しての情報共有がある。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	-	-	-	・現在、移行する生徒の予定は無いが、今後必要となった際には、情報の提供を行う。
25 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	-	-	-	・連携を図っている機関もあるが、助言や研修を受けてはいない。今後、助言や研修を受けることも検討していく。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	-	-	・そのような機会を設けることが可能かどうかについても含め、検討中である。個々の様子や保護者様のご意見も合わせて検討していく。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	・放課後等デイサービスの協議会へ所属し、定期的な研修、会議に参加している。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・お迎え時、月の様子のお知らせ等によって、適宜、個々の様子を課題を含め、お伝えしている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	50%	40%	10%	・支援の方法や方向性、ご家庭で行えることなどの提案は行っているが、具体的にペアレントトレーニングとして行ってはいない。今後、保護者様の意向も加味した上で、どのように実施していくのかを検討していく。
保護者への説明責任等				
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%	0%	・契約時に具体的に説明を行うとともに、運営規程については掲示し、支援内容や利用者負担については、必要があれば、その都度、提示しご説明している。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	90%	10%	0%	・子育て、学校生活等の様子について、適宜、職員からお伺いするとともに、申し出が合った際には、その都度、対応し、状況に合わせて助言をさせて戴いている。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	-	-	・今年度の開催はないが、保護者様の意向を含め検討していく。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・契約時にご説明するとともに、窓口となるスタッフや責任者、当事業所以外の申し出先について掲示している。ご意見が合った場合においては、速やかに対応できるよう、研修等を行い、意識の統一を図っている。
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	-	-	-	・イベント等のお知らせを都度配布するとともに、活動の概要や実施した際の様子等を掲示しているが、会報として定期的に発行していない。
35 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・研修等を行い、職員間で意識の統一を図り、適切な取扱、保管に努めている。

【福山教室／沖野上教室】事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-	○	△	×	コメント
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	0%	・視覚的な要素を取り入れたり、情報を細かく分けて伝えたりするなどの配慮を行っている。また、情報伝達のためのアプリケーションなどを取り入れている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	-	-	・現在において実施できていないが、今後、地域の方々に理解を深めていただける行事を企画していく。季節のイベントを行う際には、付近の商店のご協力を戴き、児童・生徒が訪問させて戴いている。
非常時等の対応				
38 対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	100%	0%	0%	・緊急時等の対応の流れや方法、体制等については、掲示するとともに、契約時にご説明している。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・定期的に防災訓練を実施している。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	100%	0%	0%	・マニュアルの策定や研修を行っている。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%	0%	・マニュアルや契約書等に記載するとともに、契約時、アセスメント時において、身体拘束についてのご説明を行い、必要であれば、支援計画の中に記載している。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%	0%	・重篤なアレルギーを持つ児童の在籍が無いが、食物アレルギーについて、保護者様の申し出に合わせて、医師の指示書の確認や必要な対応について相談し対応している。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	・ヒヤリハット事例集及びリスク管理マニュアル等で、事例や対応方法について情報共有を図っている。